

雑司が谷旧宣教師館だより

第8号

1998年 7月15日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎ F A X (03)3985-4081



Missionary Messenger

(ミSSIONナリー
メッセンジャー) について

マッカーレブは仲間の宣教師ヴィンセント (C.G. Vincent) と共に、アメリカの教会に宛てて雑司が谷での宣教と奉仕活動を中心に、上富坂教会や四谷、吉祥寺、静岡、千葉、茨城、福島各各地区での仲間の宣教師達の活動を報告していました。

1913(大正2)年7月1日の創刊以来、太平洋戦争の勃発でマッカーレブが帰米するまで、雑司が谷宣教師館や雑司が谷学院などに集まる著名な日本人や、日本人の風俗、習慣、生活ぶり等を定期的に紹介しています。

例えば1914年7月号では"JAPAN'S IDOLS"と題して、三十三間堂の観音像を紹介しています。はじめの部分抜き出してみましょう。

On this page we show a picture of the famous "Sanjusangendo" which is located in Kyoto. Mrs. Vincent and myself visited this temple while we were southern Japan in April....

(京都にある有名な「三十三間堂」の写真を紹介しましょう。ミセス・ヴィンセントと私は、4月の南日本(?)滞在中にこのお寺を訪れました...)の書き出しに始まり、「千手観音像」の写真が掲載され、他の見学者とともに寺の若い僧侶の説明を聞いた記事が載せられています。



同年の9月号には北海道の牧場や、日本三景の一つ松島の写真も載るなど、マッカーレブは日本各地を訪れています。意外な記事もありました。なんと求人広告で、「雑司が谷でいっしょに布教してくれる人を募集します!」というマッカーレブからのメッセージでした。

1915年8月号には、浅間山の噴火のニュースも伝えるなど、マッカーレブらの布教活動だけではなく折々の出来事、風俗習慣等を、日本の近代化が目まぐるしく進む中、一外国人宣教師がどのような視線で見ているか、祖国にどう伝えていたのが興味深い記録です。(※当館の資料は ABILINE CHRISTIAN COLLEGE のマイクログラフフィルムを複製させていただいたものです。)

『赤い鳥』創刊80周年

今年雑誌『赤い鳥』が1918(大正7)年7月1日に創刊されてから、ちょうど80周年にあたります。毎年この日に「赤い鳥文学賞」「新美南吉児童文学賞」「赤い鳥さし絵賞」の受賞式が、豊島区内において行なわれています。

80年前、北豊島郡高田村大字栗鴨字代地3559(現・目白3-17)の自宅で、鈴木三重吉は「...子供の純性を保全開発するために、現代第一流の芸術家の真摯なる努力を集め、兼て、若き子供のための創作家の出現を迎える...」(『赤い鳥』の標榜語(モットー)より)として、芥川龍之介、北原白秋、島崎藤村ら13名の賛同者を得て子どものための文芸雑誌『赤い鳥』を創刊しました。

芥川龍之介の「蜘蛛の糸」、有島武郎の「一房の葡萄」、北原白秋の「からたちの花」、西条八十の「かなりや」等の優れた童話・童謡を生みだしました。

1998年のそれぞれの受賞作品は次の通りです。

- ◆ 第28回 赤い鳥文学賞
森 忠明『グリーン・アイズ』 小峰書店
- ◆ 第16回 新美南吉児童文学賞
さなとも『ポーラをさがして』 講談社
- ◆ 第12回 赤い鳥さし絵賞
渡辺洋二『アルマジロのしっぽ』 あかね書房

『赤い鳥』の複製資料、また近年の各賞の受賞作品も児童コーナーに置いてあります。大正ロマンの浮う挿絵がまた格別です。また豊島の児童文化運動と、新学校について書かれ

た『こどもの再発見』（豊島区立郷土資料館編集）に詳しい資料が載っています。（事務室に有）

豊島区親子読書連絡会20周年記念

豊島区郷土すごろく

豊島区親子読書連絡会は、区内をつぶさに歩いて郷土すごろくを完成させました。ここ旧宣教師館に訪ねてみえたのは2年前でした。

トキワ荘、つっじが丘アトリエ工、長崎神社の獅子舞、池袋の地名発祥の丸池、明治女学校、切手博物館から染井漬跡と区内の名所、名跡、お祭りと地元の行事に至るまで、子ども達の手描きの絵で表現されています。

なんと江戸川乱歩邸では、明智小五郎と怪人二十面相がにらみ合うなど、ユーモア溢れる力作揃いです。豊島区親子読書連絡会にお願いして、この作品を、本館2階に展示させてもらうことにしました。



☆この豊島区郷土すごろくは、下記のところで取扱っているそうです。

- ・リプロ池袋店（西武・池袋店内）
- ・旭屋書店（東武百貨店内）
- ・芳林堂（池袋駅西口）
- ・ピピ子どもの本（文京区小石川）
- ・地藏堂（とげぬき地蔵通り・漢方）

----- 来食官者の声 -----

△素晴らしい建物のうえに管理が行き届いており、敬服しました。この保存（原も含めて）が、ご努力で続きますようお願いしております。（北区、40代宮団地下鉄沿線案内をみて、2回目、4/12）

△歴史を深める上で、大変参考になりました。（都内、50代、散策中、都電で、5/5）

▽静かで、気持ち落ち着きます。散歩によいので、時々きています。（上池袋、広報としま、何度も、徒歩、5/10）

▽ビテオが整備されていて建物も美しく、良かった、穴場です。（大阪、50代、雑誌の記事で、初めて、池袋からタクシー、6/6）

◇この方は、朝、大阪を立ち、11時に新宿で待ち合わせという忙しさの中、是非とも来てみたかったと往復タクシーでの来館でした。門前ガザンガ。

花ごよみ

梅雨の時期になりました。雑司が谷旧宣教師館の庭には、梅雨によく似合うガクアジサイが、ブルーに白の小花をつけて、色美しく今を盛りと、咲いております。これからは夏の花、タマスダレ・ホウセンカ・ヒマワリ・マリールージュ・アペリア・サルスベリ・ヤブラン等で華やかさをまします。

今回はこの花の中より「ヤブラン」について、紹介したいと思います。

「ヤブラン」

科名 コリ科の宿根草
花期 6～9月
適地 半日陰



日本原産ですが、アメリカでの人気非常高いです。暑さ寒さに強く、日陰地でも良く育ち、草姿も美しい等、地被素材としての利点を、数多く備えております。夏に咲く花は、淡紫色で清楚な美しさを持っています。秋から冬にかけては、青紫の果実をつけその姿も愛らしいです。

ご来館の折には是非ご覧ください。 反り目

お・タム・ミニ・コンサート計画

9月の23日（祝）か27日（日）（開催日未定）にハーモニカのミニコンサートを予定しています。演奏してくださるのは、町内の河本明さん。テレビドラマや建国記念日を祝う国民式典等で、演奏した実績を持つ税理士さんです。余暇は福祉施設などを回るボランティアとして活躍中です。広報としまでお知らせします。

【編集後記】恒例になった、夏休みの小学生のブルーベリー摘み。今年は7/23日と30日に「勾玉作り」と「草木染」と共に行います。来年は自給自足で暮らしたマクレーブを運び、野菜を栽培しようかと思案中です。夏休みに収穫できるもの等... 文責（浜地）